

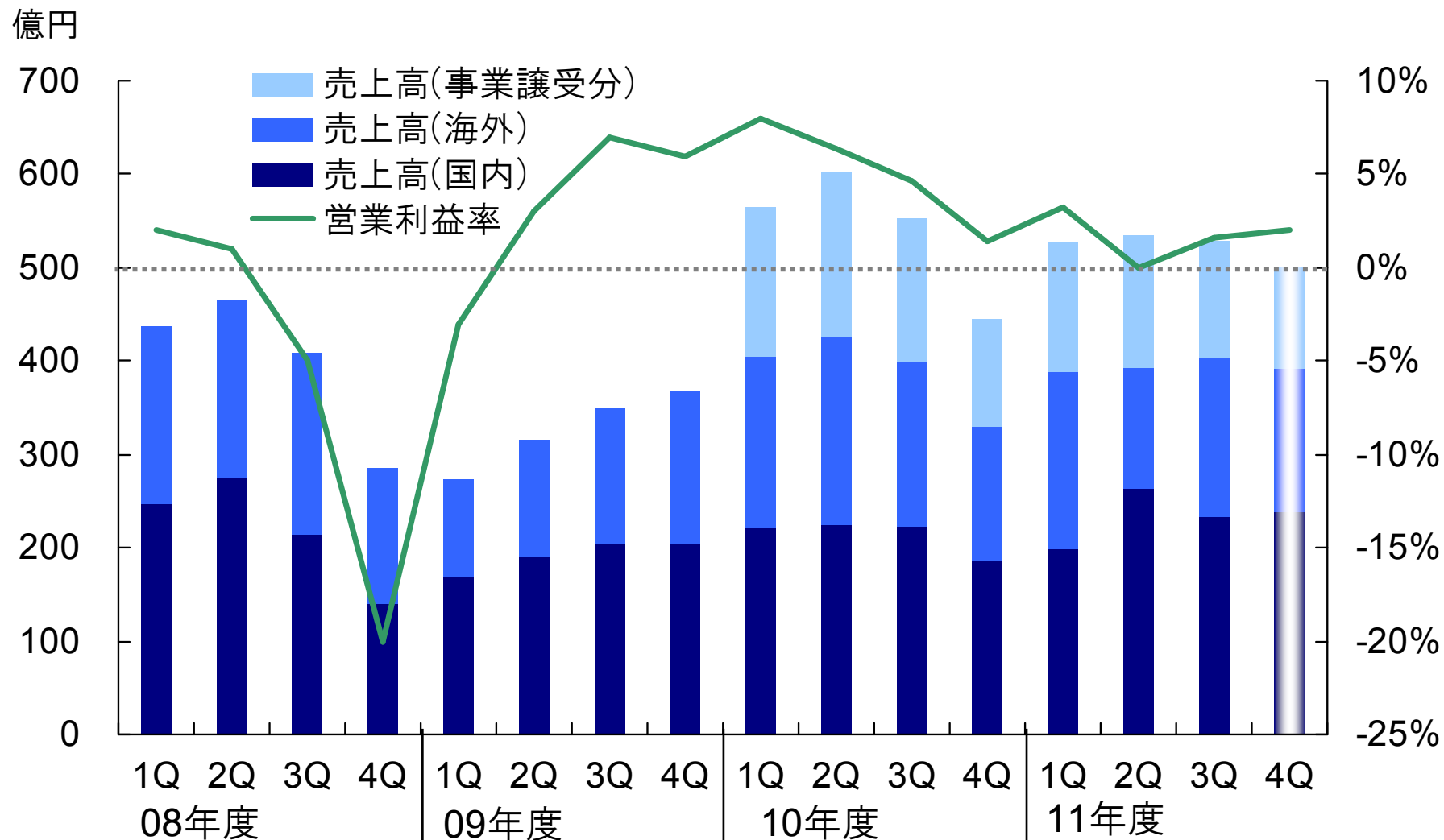
2011年12月期
(2012年3月期第3四半期)
決算説明資料

2012年2月10日
曙ブレーキ工業株式会社

2011年12月期 業績説明

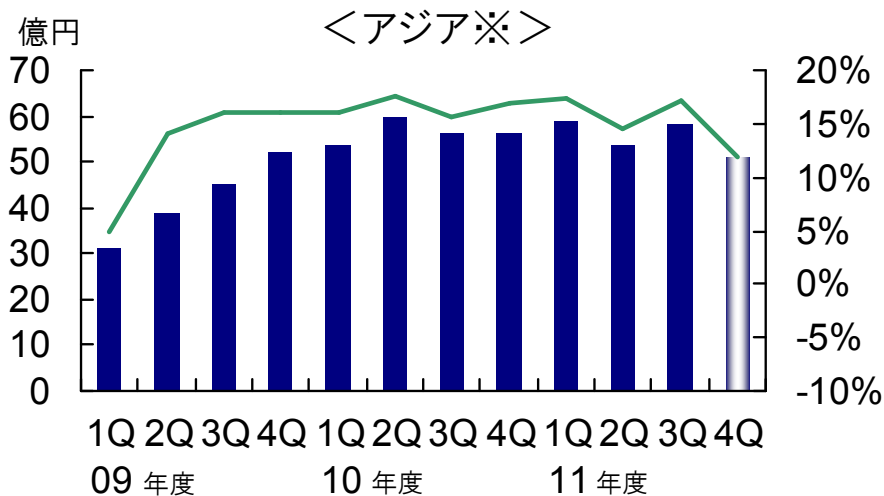
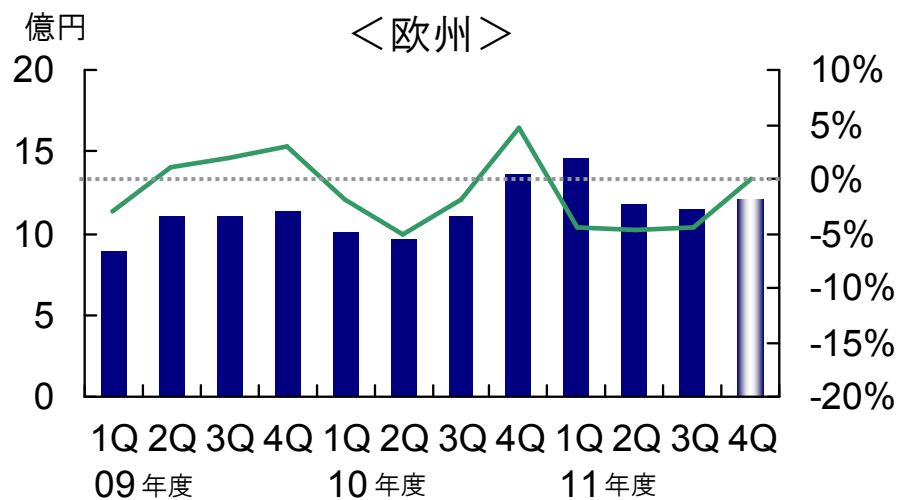
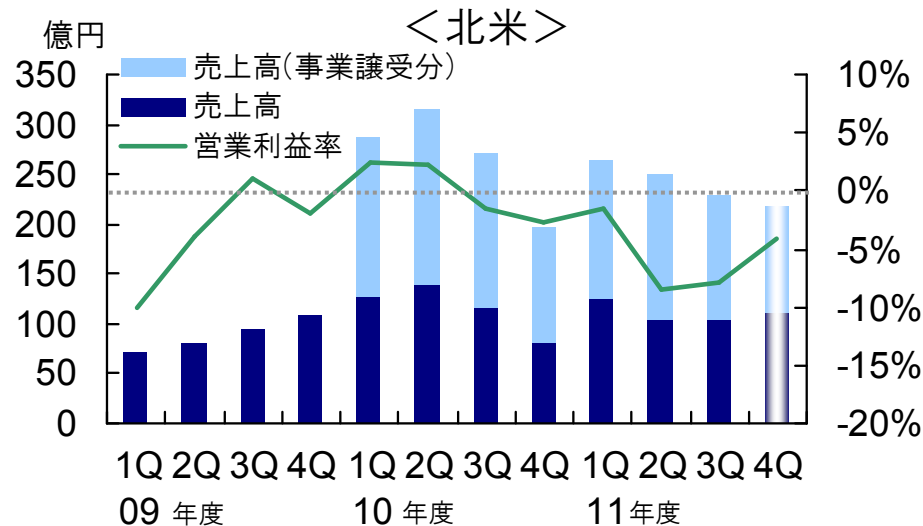
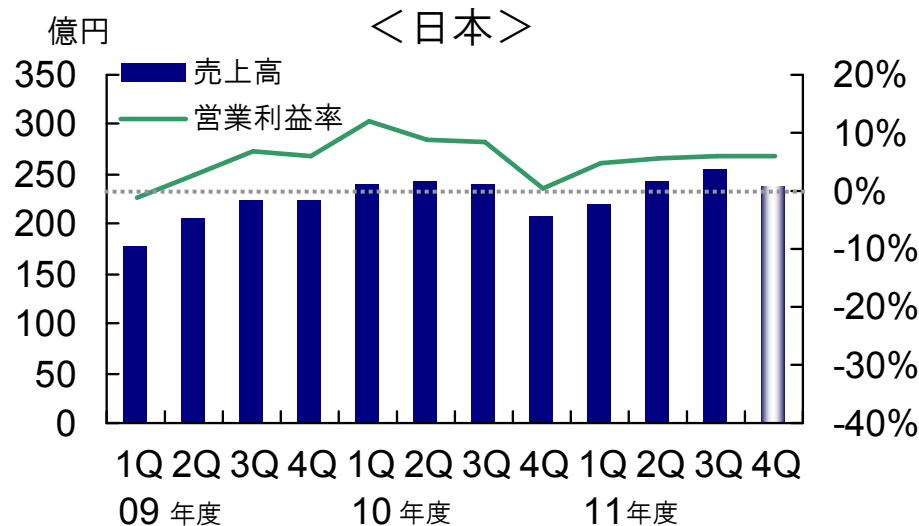
売上高と営業利益率のトレンド(連結)

四半期毎の売上高と営業利益率



売上高と営業利益率のトレンド(地域別)

四半期毎の売上高と営業利益率

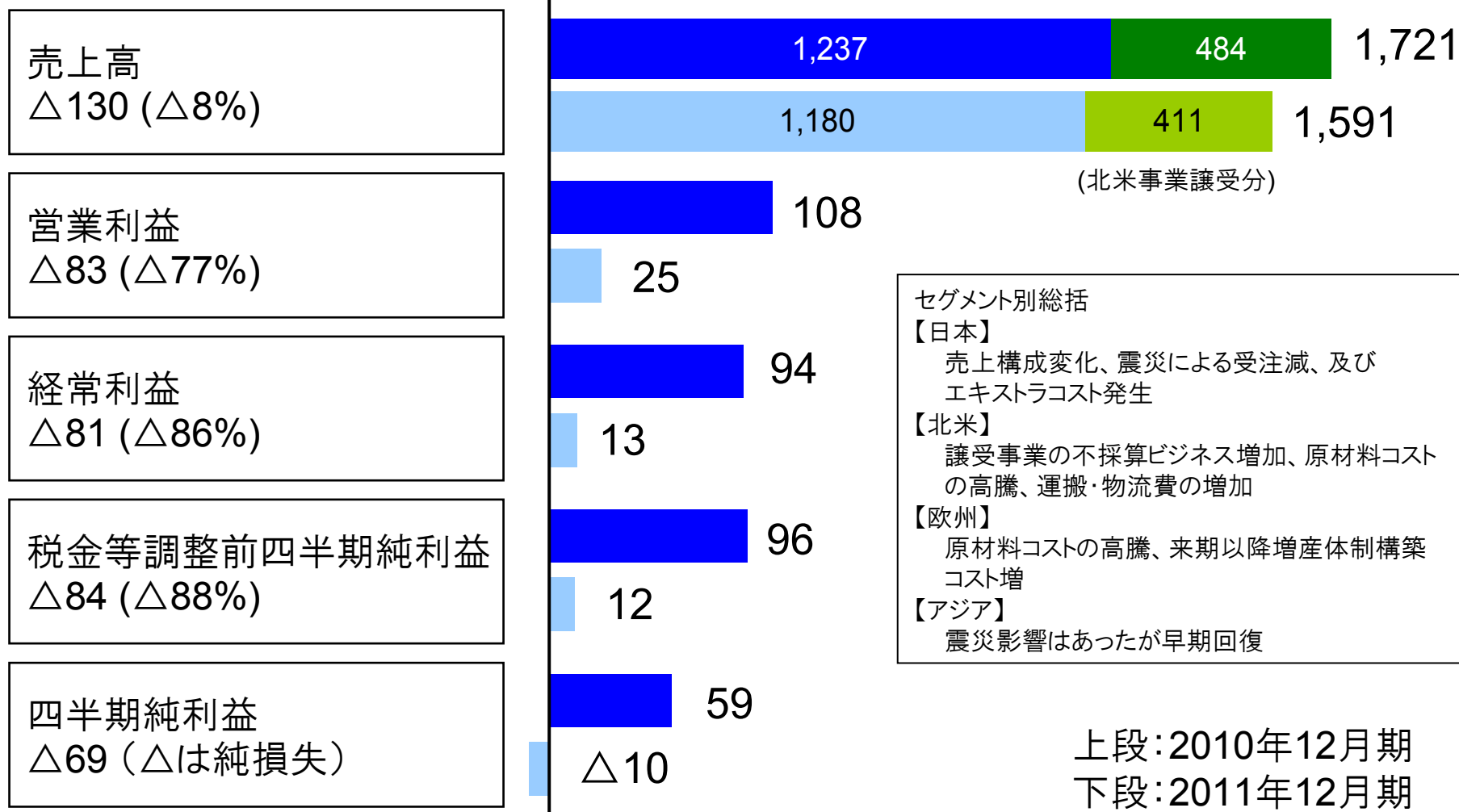


※アジアについては、従来アジア内で消去される金額を減算し表示しておりましたが、決算短信セグメント情報にあわせ単純合算の表示に変更しております。

2011年12月期:連結業績(対前年同期)

対前年差

(単位:億円)



2011年12月期:所在地別の状況

<億円ベース>	売上高				営業利益			
	FY10-3Q	FY11-3Q	差	為替 換算影響	FY10-3Q	FY11-3Q	差	為替 換算影響
日本	724	715	△ 9		70	40	△ 30	
北米	873	744	△ 129	△ 82	9	△ 44	△ 53	5
欧州	31	38	7	△ 1	△ 1	△ 2	△ 1	0
中国	38	37	△ 1	△ 2	6	5	△ 1	0
タイ	25	24	△ 0	△ 2	3	3	△ 1	0
インドネシア	107	109	2	△ 7	18	20	2	△ 1
アジア	170	171	1	△ 11	28	28	0	△ 1
連結消去	△ 77	△ 77	0		1	2	1	
Total	1,721	1,591	△ 130	△ 94	108	25	△ 83	4

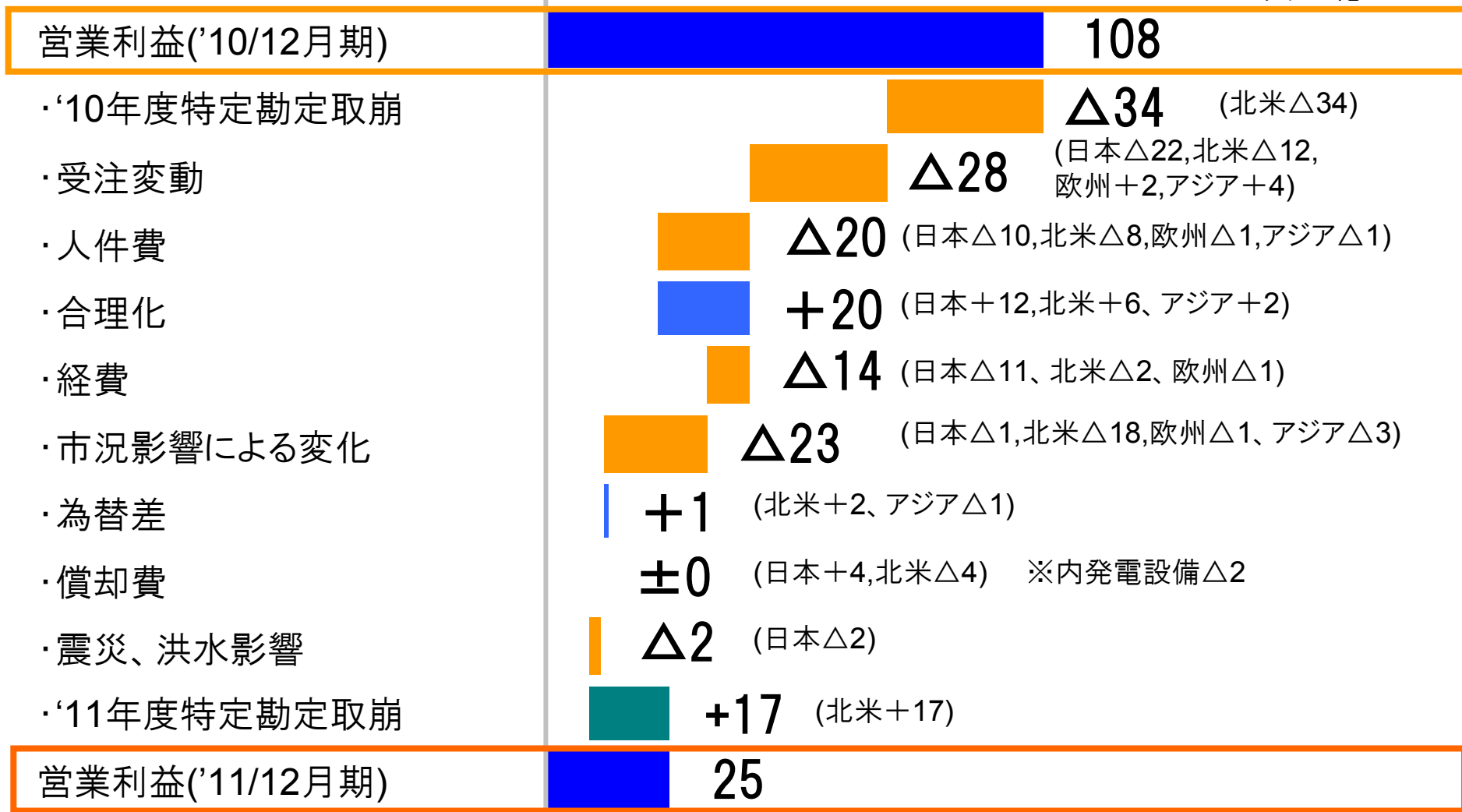
※インドネシア株式追加取得によるのれん償却は、連結消去に含んでおります。(FY10にて償却完了)

<現地通貨ベース>	FY10-3Q	FY11-3Q	差	増減率	FY10-3Q	FY11-3Q	差	増減率
北米: \$ mil.	981	928	△ 53	-5%	11	△ 54	△ 65	-
欧州: EUR mil.	27	34	+ 7	24%	△ 1	△ 2	△ 1	-
中国: CNY mil.	288	299	+ 11	4%	48	43	△ 5	-11%
タイ: THB mil.	899	928	+ 29	3%	118	104	△ 14	-12%
インドネシア: IDR bil.	1,082	1,173	+ 91	8%	186	217	+ 31	17%

<為替レート>	FY10-3Q	FY11-3Q	変化率	FY10-3Q	FY11-3Q	変化率	
USD	89.0	80.2	-10%	CNY	13.1	12.4	-6%
EUR	112.2	110.6	-1%	THB	2.8	2.6	-4%
				IDR	0.0099	0.0093	-6%

2011年12月期:営業利益増減分析(対前年差)

単位:億円



2011年12月期:営業利益から純利益まで

前年同期

主な勘定

営業利益	108		
営業外収支△14		支払利息 その他	△9 △5
経常利益	94		
特別損益 +2		持分変動利益 その他	+3 △1
税前利益	96		
		法人税等 少数株主利益	△25 △12
当期純利益	59		

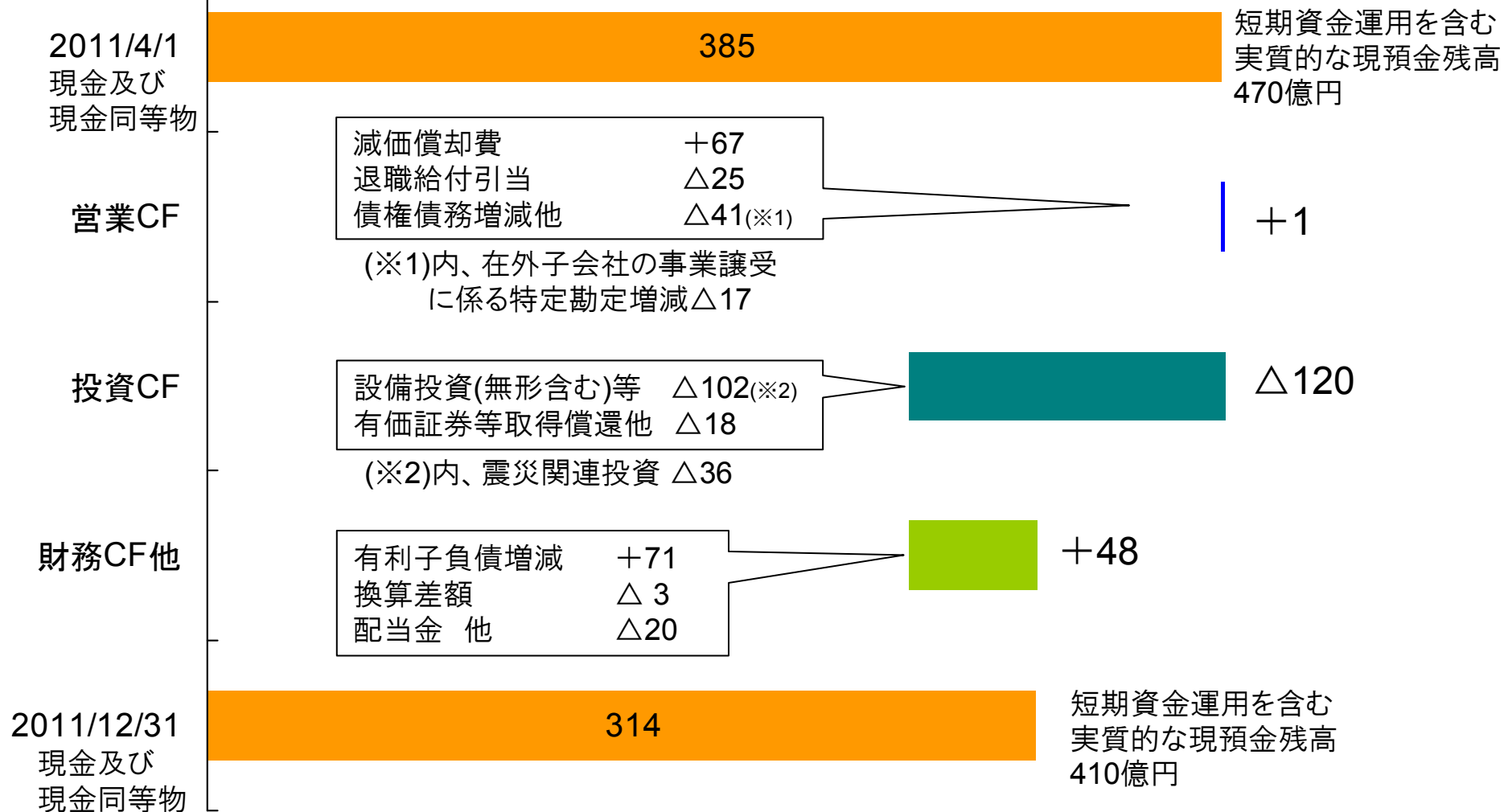
当期

主な勘定

営業利益	25		
営業外収支△12		支払利息 為替差損	△9 △3
経常利益	13		
特別損益 △1		固定資産除売却損 その他	△1 ±0
税前利益	12		
		法人税等 少数株主利益	△13 △9
当期純利益	△10		

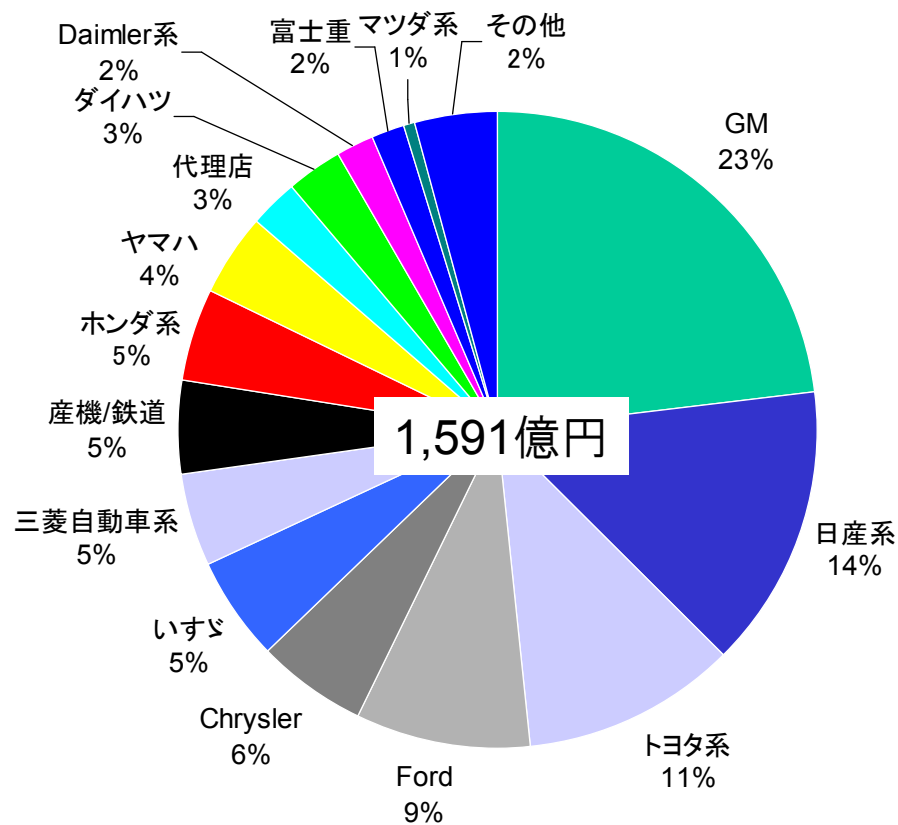
2011年12月期:キャッシュ・フロー

(単位:億円)

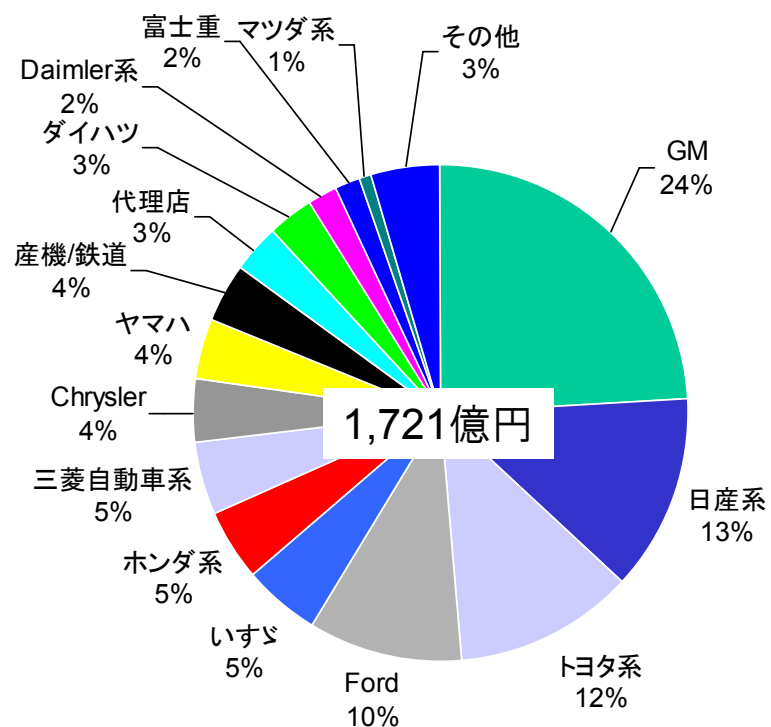


2011年12月期:お客様別売上高実績

＜2011年12月期実績＞



＜参考: 2010年12月期実績＞

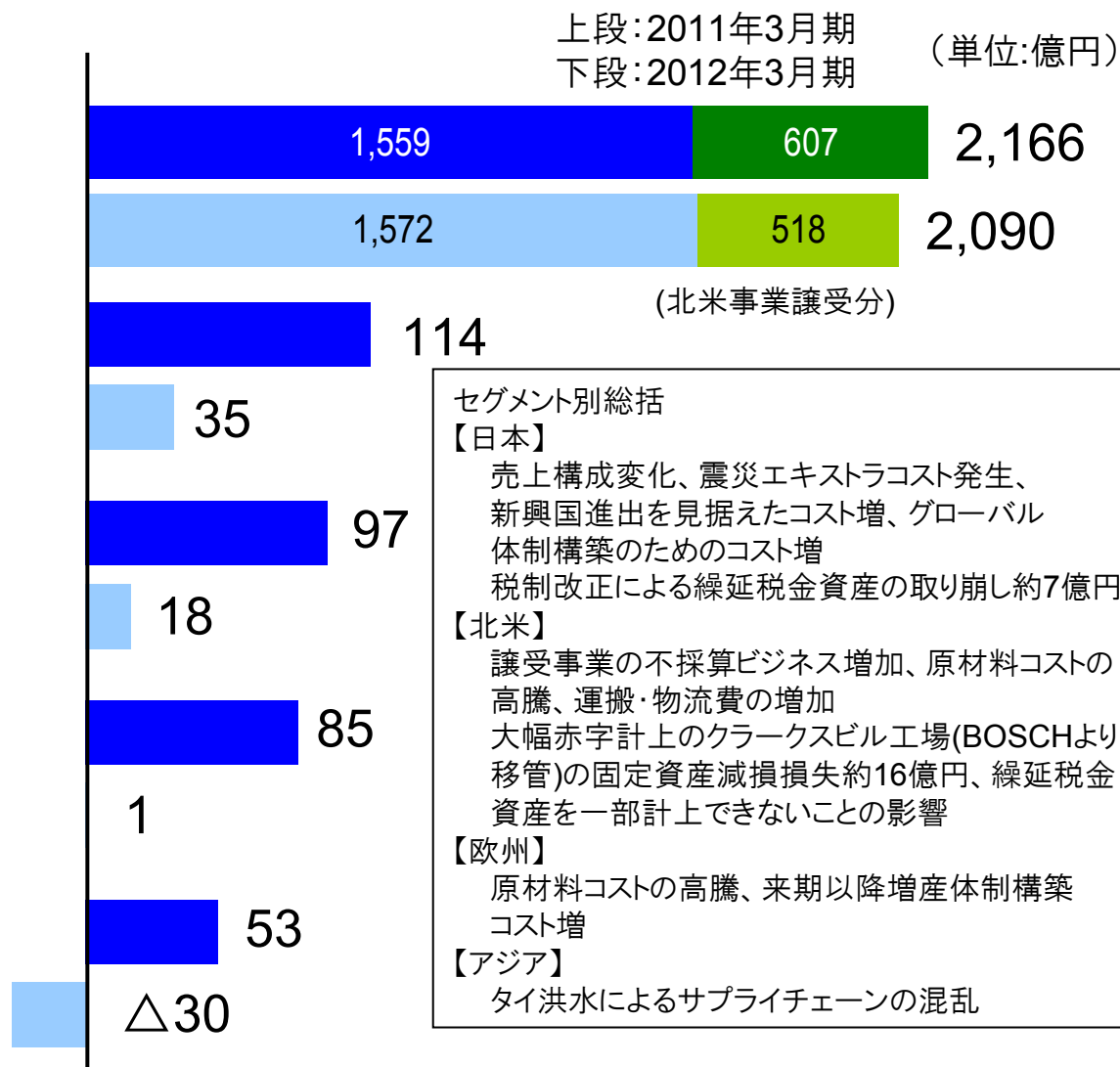


2012年3月期見込み説明

2012年3月期見込み:連結業績

対前年差

売上高 △76 (△4%)
営業利益 △79 (△69%)
経常利益 △79 (△81%)
税金等調整前当期純利益 △84 (△99%)
当期純利益 △83 (△は純損失)



2012年3月期:所在地別の状況

<億円ベース>	売上高				営業利益			
	FY10	FY11	差	為替 換算影響	FY10	FY11	差	為替 換算影響
日本	931	953	22		71	54	△ 17	
北米	1,070	962	△ 108	△ 93	4	△ 53	△ 57	5
欧州	44	52	8	△ 2	0	△ 2	△ 2	0
中国	51	53	2	△ 2	8	7	△ 1	△ 0
タイ	33	29	△ 4	△ 2	4	2	△ 2	△ 0
インドネシア	142	140	△ 2	△ 8	27	25	△ 2	△ 1
アジア	226	222	△ 4	△ 4	39	34	△ 5	△ 2
連結消去	△ 106	△ 99	7		0	2	2	
Total	2,166	2,090	△ 76	△ 107	114	35	△ 79	3

※インドネシア株式追加取得によるのれん償却は、連結消去に含んでおります。(FY10にて償却完了)

<現地通貨ベース>	FY10	FY11	差	増減率	FY10	FY11	差	増減率
北米: \$ mil.	1,226	1,208	△ 18	-1%	5	△ 67	△ 72	-
欧州: EUR mil.	39	48	+ 9	23%	0	△ 2	△ 2	-
中国: CNY mil.	396	429	+ 33	8%	64	57	△ 7	-11%
タイ: THB mil.	1,185	1,115	△ 70	-6%	151	77	△ 74	-49%
インドネシア: IDR bil.	1,464	1,522	+ 58	4%	277	272	△ 5	-2%

<為替レート>	FY10	FY11	変化率	FY10	FY11	変化率	
USD	87.3	79.6	-9%	CNY	12.9	12.4	-4%
EUR	112.6	108.0	-4%	THB	2.8	2.6	-7%
				IDR	0.0097	0.0092	-5%

2012年3月期見込み:営業利益増減分析(対前年差)

単位:億円

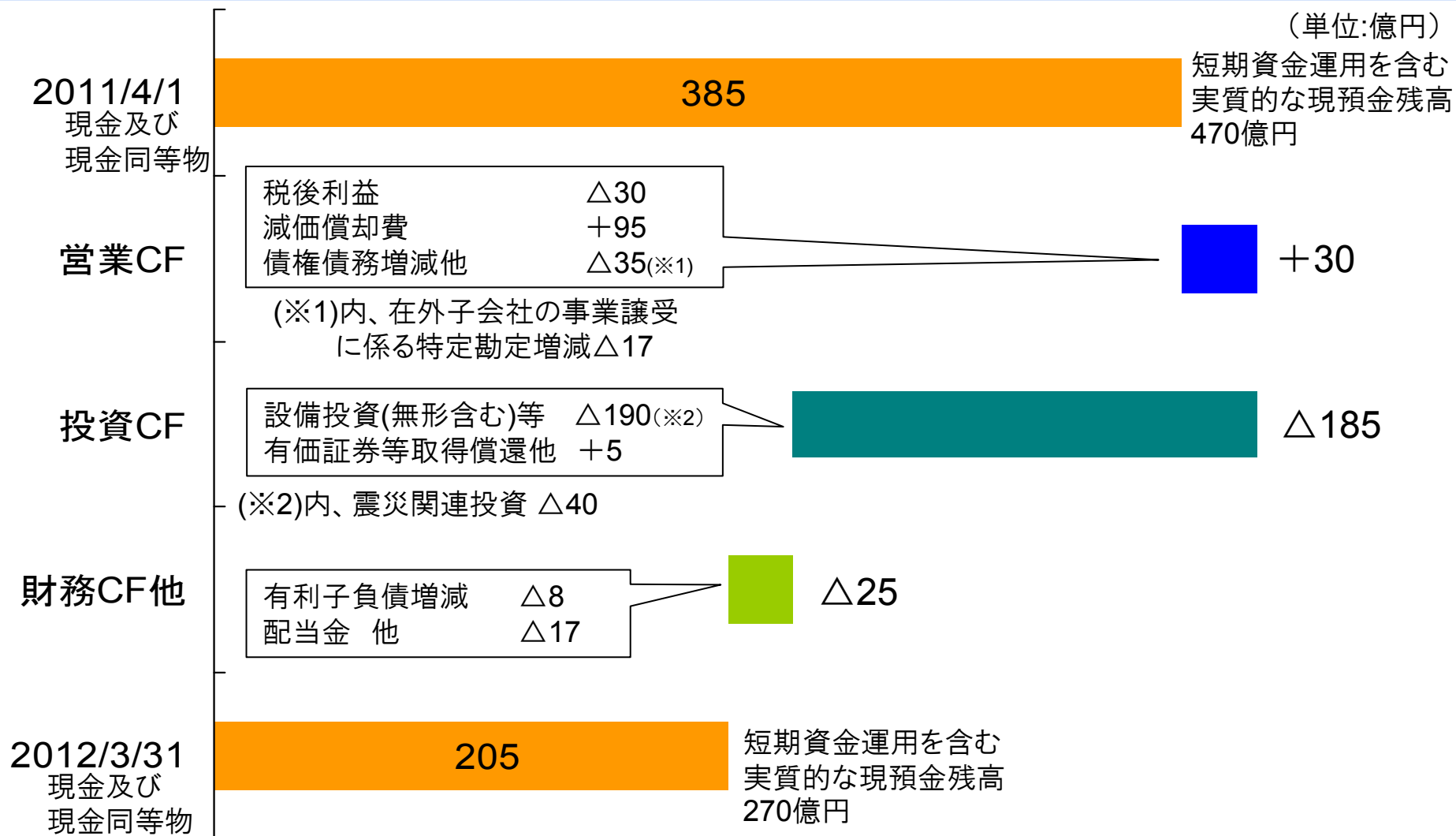
営業利益('11/3月期)	114
・'10年度特定勘定取崩	△54 (北米△54)
・受注変動	△19 (日本△11,北米△12,欧州+2,アジア+2)
・人件費	△18 (日本△9,北米△7,欧州△1,アジア△1)
・合理化	+28 (日本+17,北米+9,アジア+2)
・経費	△12 (日本△7,北米△3,欧州△2)
・市況影響による変化	△21 (日本△9,北米△7,欧州△1,アジア△4)
・為替差	+3 (北米+4,アジア△1)
・償却費	±0 (日本+4,北米△4) ※内発電設備△3
・震災、洪水影響、他	△3 (日本△2,アジア△3,他+2)
・'11年度特定勘定取崩	+17 (北米+17)
営業利益('12/3月期)	35

2012年3月期:営業利益から純利益まで

前年同期		主な勘定		当期		主な勘定	
営業利益	114			営業利益	35		
営業外収支△17		支払利息	△12	営業外収支△17		支払利息	△12
		為替差損	△3			為替差損	△3
		その他	△2			その他	△2
経常利益	97			経常利益	18		
特別損益 △12		持分変動利益	+3	特別損益 △17		北米固定資産減損	△16
		固定資産除売却損	△3			その他	△1
		災害による損失	△13				
		その他	+1				
税前利益	85			税前利益	1		
		法人税等	△16			法人税等(※1)	△18
		少数株主利益	△16			少数株主利益	△13
当期純利益	53			当期純利益	△30		

(※1) 法人税等には、税制改正の影響額△7億円が含まれています。
(繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を計上)

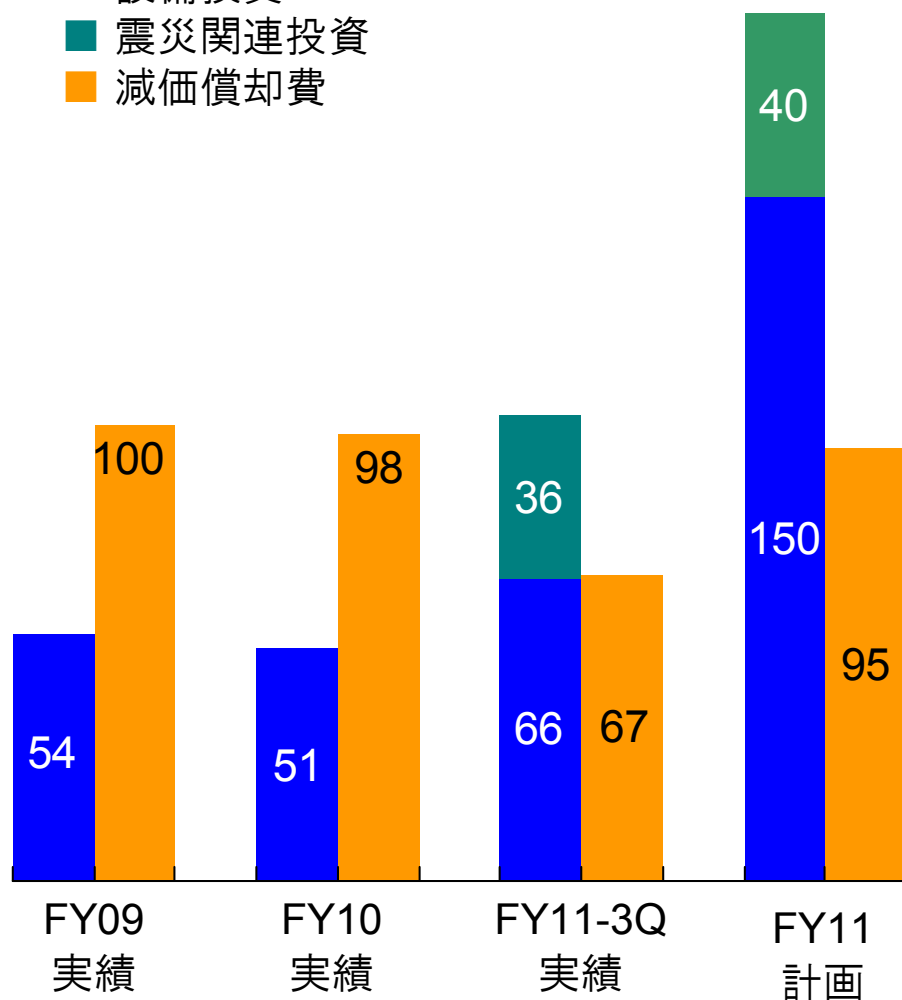
2012年3月期見込み:キャッシュ・フロー



2012年3月期計画:設備投資及び償却費

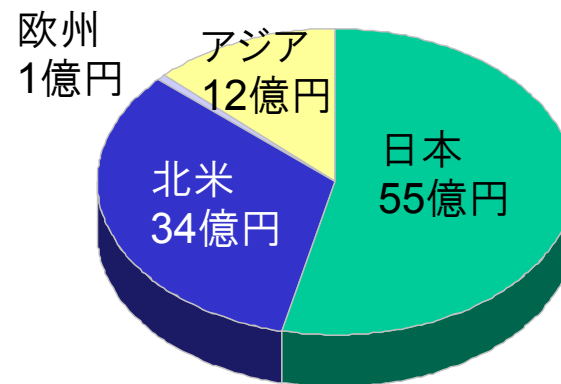
- 設備投資
- 震災関連投資
- 減価償却費

単位:億円

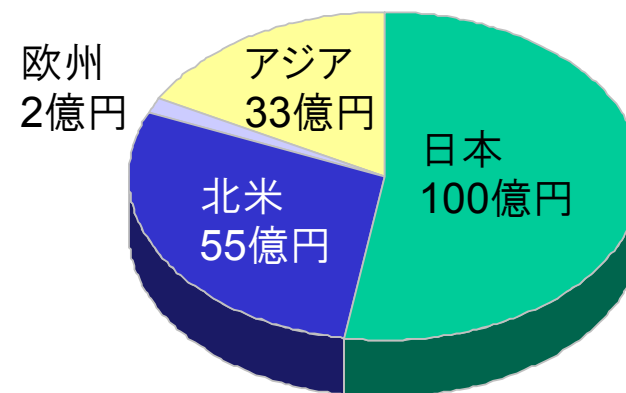


[地域別 設備投資(無形含む)]

FY11-3Q実績: 102億円



FY11計画: 190億円



重点課題への取り組み

2012年度以降に向けての検証事項

不透明感のある翌期に対して、以下の事項の見極めが必要

◇ 経済環境

- 欧州債務危機
- 円高の定着
- 環境対応
- 国内電力供給

◇ 自動車業界環境

- 環境対応(EV, HV, 小型化)
- グローバルプラットフォーム
- 海外生産シフト

◇ 当社グループの環境

- 北米の収支改善
- 完成車メーカーの海外シフト
- 環境対応

2012年度以降の重点課題の取り組み

Global 30実現に向けて以下の重点課題に取り組んでいく

北米収支	<ul style="list-style-type: none">•不採算製品の受注打切り、原材料コストアップの販売価格転嫁、資材調達改善、生産性向上、ロジスティクス改善、間接人員見直し
グローバル化	<ul style="list-style-type: none">•ベトナム、メキシコ進出(生産増強とコスト競争力の確保)•グローバルプラットフォームによる標準化・共通化推進と収益力拡大
差別化技術	<ul style="list-style-type: none">•環境対応(電動ブレーキ、銅レス摩擦材)•NVH技術の確立(差別化ロータ)
コスト競争力	<ul style="list-style-type: none">•Disc、Drum、Pad設備の一新 <p>⇒労働生産性UP、リードタイム短縮、エネルギー効率改善</p>

北米事業の進捗、及び 新興国(メキシコ)進出について

収支改善の施策

2011年11月7日開催の説明会でご説明した収支改善の施策

1. 鋳物調達の見直し
2. 組織改定と人事
3. ロジスティクス
4. メキシコ進出
5. 固定費削減のための間接人員の見直し
6. 外注部品の見直し

中長期の施策

1. Columbia工場(ABCS)のアルミセンター化
2. FNC技術を活用したローター製品戦略
3. ローター、コーナ-モジュールを新規商品としてNVHと絡めたアプローチ
4. グローバルプラットフォーム対応

来期の収益改善諸施策

現時点で、年間約48億円の収支改善の目処がたった。
当期比で大幅に営業損失が減少、黒字化を目指す。

・ 不採算ビジネス対象モデルの生産終了	約11億円 (15mil\$)
・ 原材料コストアップの販売価格への転嫁	約11億円 (14mil\$)
・ 資材調達価格の改善(客先支給への変更等)	約10億円 (13mil\$)
・ 生産性向上・ロジスティクス改善等の合理化	約8億円 (10mil\$)
・ 新規製品受注増	約6億円 (8mil\$)
・ その他	約2億円 (2mil\$)
合計	約48億円 (62mil\$)

*2011年度の営業損益は実質70億円(87mil\$)の赤字、
引当金を含めて53億円(67mil\$)の赤字見込み

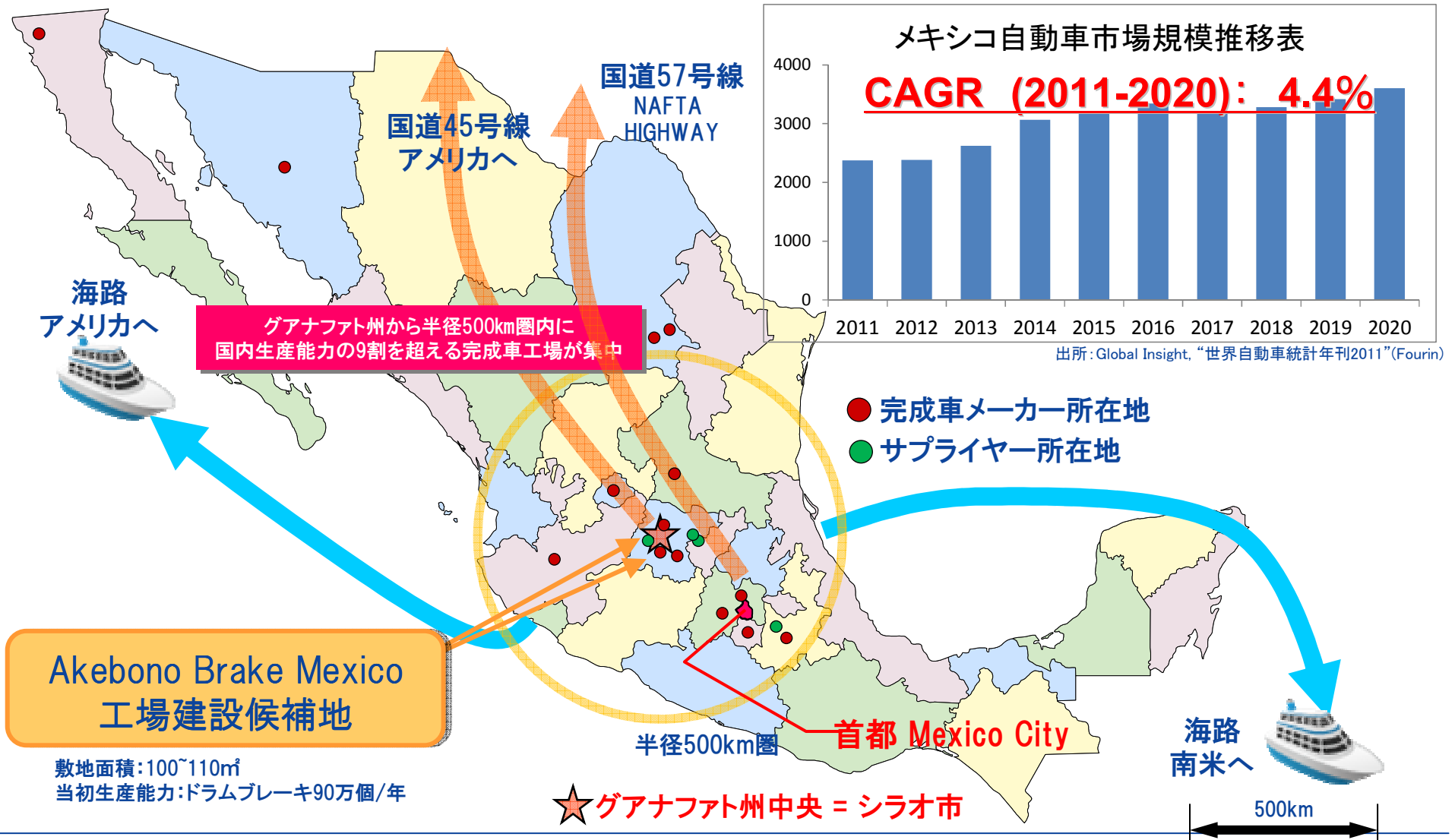
【新会社概要】

会社名:	Akebono Brake Mexico S.A. de C.V.
資本金(設立時):	4億円
株主構成(設立時):	曙グループ100%
所在地:	メキシコ合衆国グアナフアト州
設立年月日:	2012年4月1日(予定)
生産開始	2013年6月(予定)
当初生産能力:	ドラムブレーキ90万個/年

メキシコ進出の基本方針

- ◆ GMおよび日系OEMの現地生産への対応
- ◆ 北米オペレーションとの連携でオペレーション効率の最大化・利益極大化の追求
- ◆ メキシコ生産の利点を最大限活用

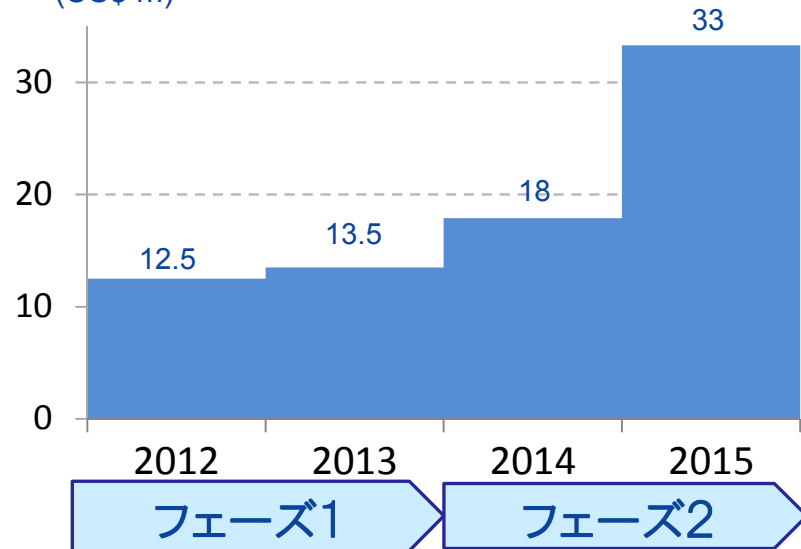
メキシコ自動車市場



事業展開スケジュール

【累積投資金額】

(US\$ m)



【フェーズ1】

2012年2月： 設立準備

2012年4月： 会社設立

2012年4月： 工場建設開始

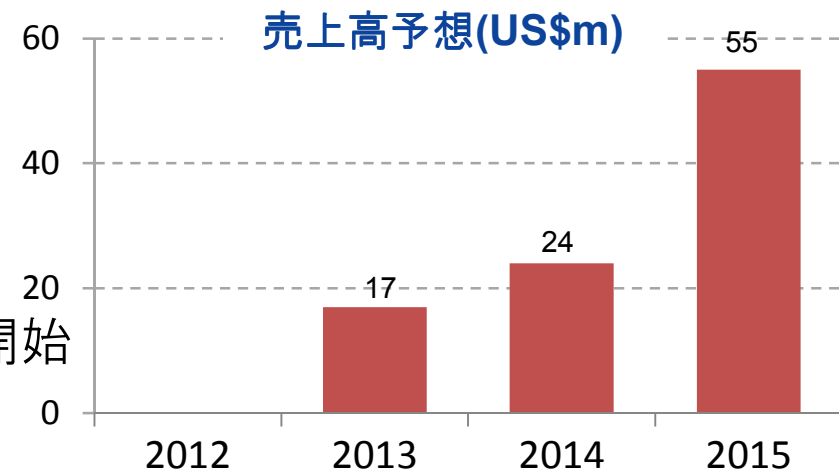
2013年春： 工場竣工

ドラムブレーキ組立から開始

【フェーズ2】

2014年～： アルミキャリパーなどの生産開始

2013年はドラム組立から
2014年、2015年から順次キャリパー生産を開始

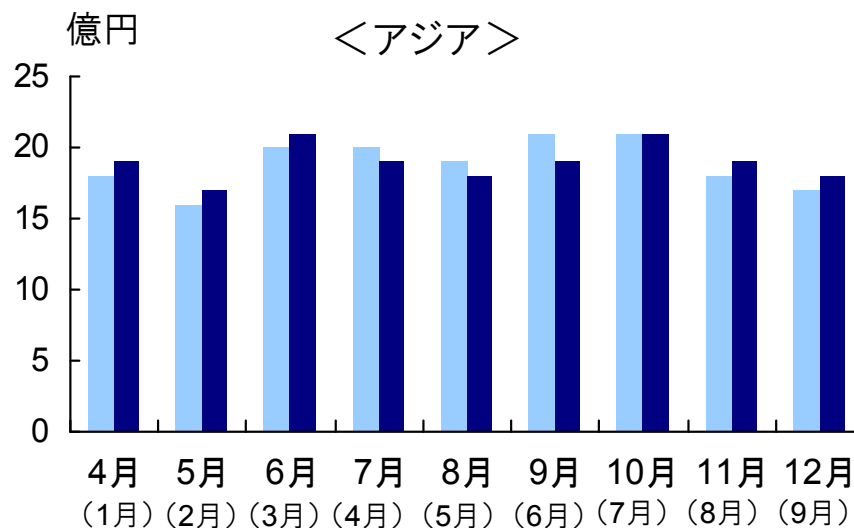
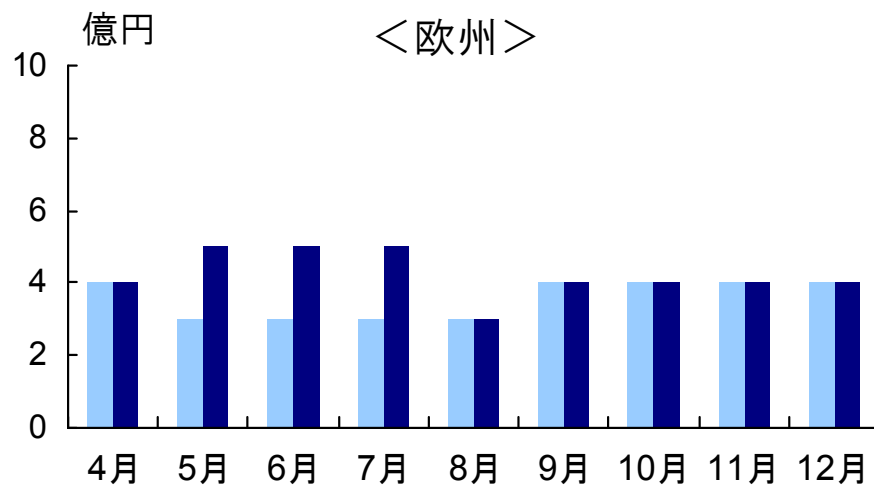
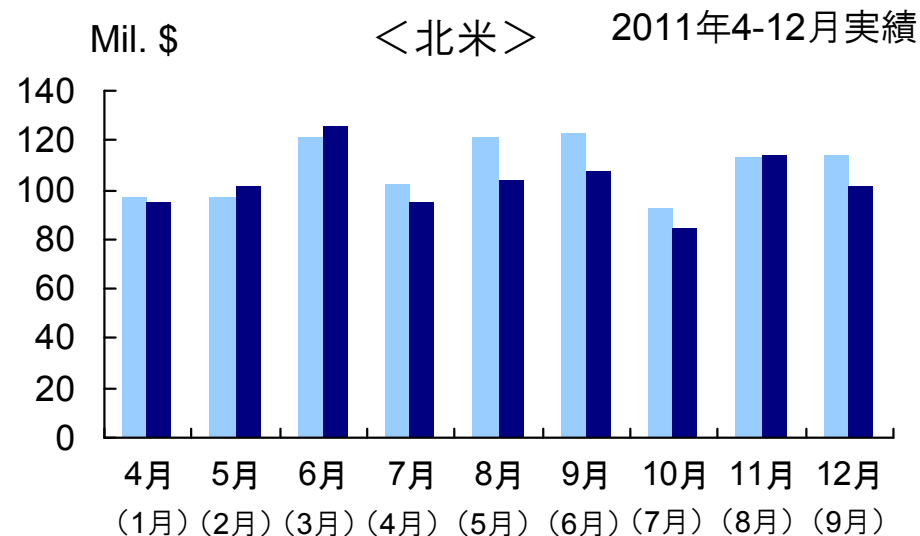
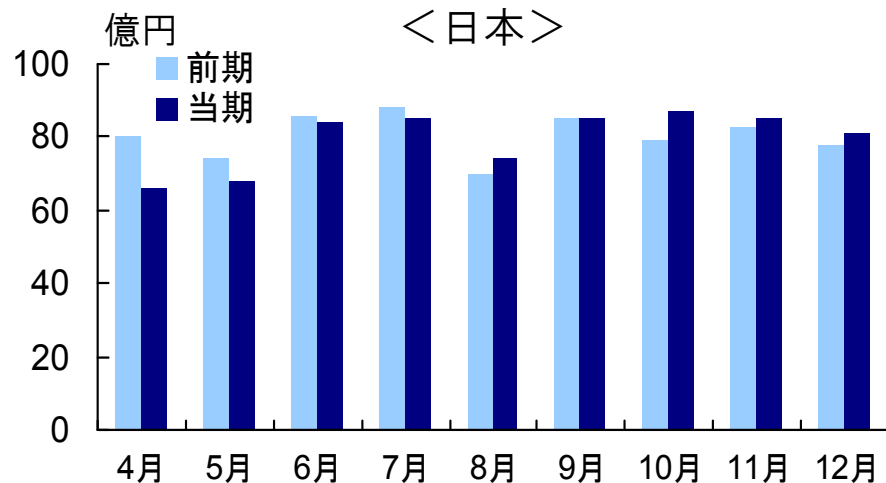


本資料の計画は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化によっては、実際の業績が変動することがあります。

添付資料

(ご参考)2011年12月期:売上高のトレンド(地域別)

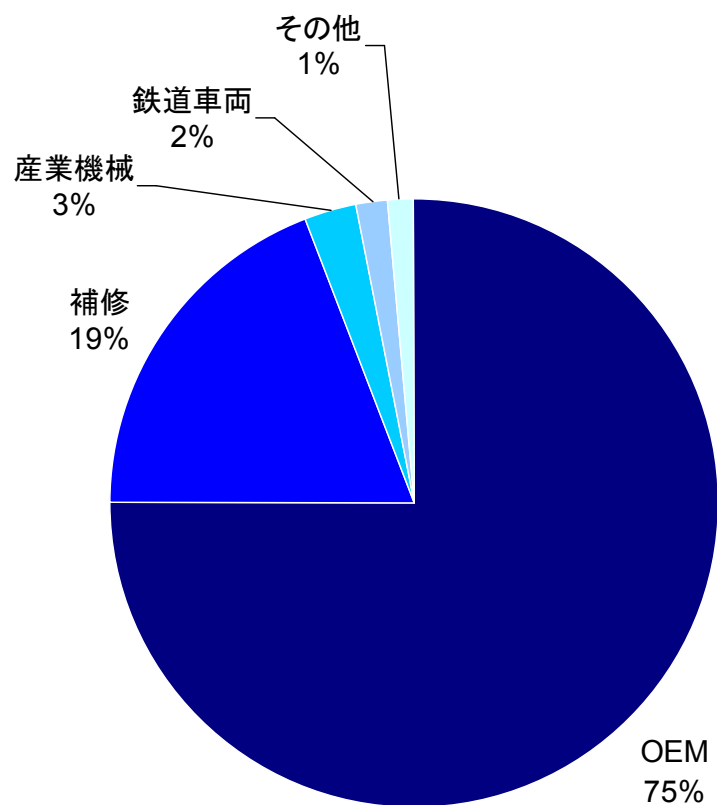
月次売上高推移



(ご参考)2011年12月期:売上高 [お客様区分別/製品別]

2011年4-12月実績

<お客様区分別>



<製品別>

